



古殿町



防災ハザードマップ

～誰もが安全で安心して生活できるまちづくり～



はじめに	p.1
避難行動ガイド	p.2
警戒レベルを用いた避難情報	p.3
防災気象情報	p.4
土砂災害について	p.5
洪水浸水害について	p.6
地震対策について	p.7
火災対策について	p.8
非常用持ち出し袋および備蓄品	p.9
わが家の防災対策	p.10
避難施設一覧	p.11
全体図	p.12
詳細図	p.13～
裏表紙 (情報取得記事)	巻末

〈保存版〉 令和8年3月発行

発行:古殿町(問い合わせ:総務課 0247-53-4611)

<https://www.town.furudono.fukushima.jp/>

制作・著作:株式会社ゼンリン 郡山営業所

作成:令和8年3月

「この地図は、古殿町長の承認を得て、同町発行の1/2,500配水管路図を使用し、調製したものである。」

「この地図は、福島県の測量成果を使用したものである。(令和4年2月22日付け3森第3538号にて承認)」

はじめに

町民の皆様へ

自分の家族や地域を守るのは皆様です。

町民の皆様には、日頃より町政に対するご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

皆様、災害に対する備えは大丈夫でしょうか。

近年、これまでに経験したことのない、大規模地震、大雨、大型台風による災害が全国各地で発生し、大きな被害をもたらしています。本町においても、東日本大震災(H23.3.11)、令和元年東日本台風(台風19号：R1.10.12-13)では被害を受けております。

日頃から知ってほしい災害への備えや避難の基礎知識、起こりうる自然災害が発生したときの避難場所や避難所、土砂災害警戒区域などを一冊にまとめた「古殿町防災ハザードマップ」を作成しました。

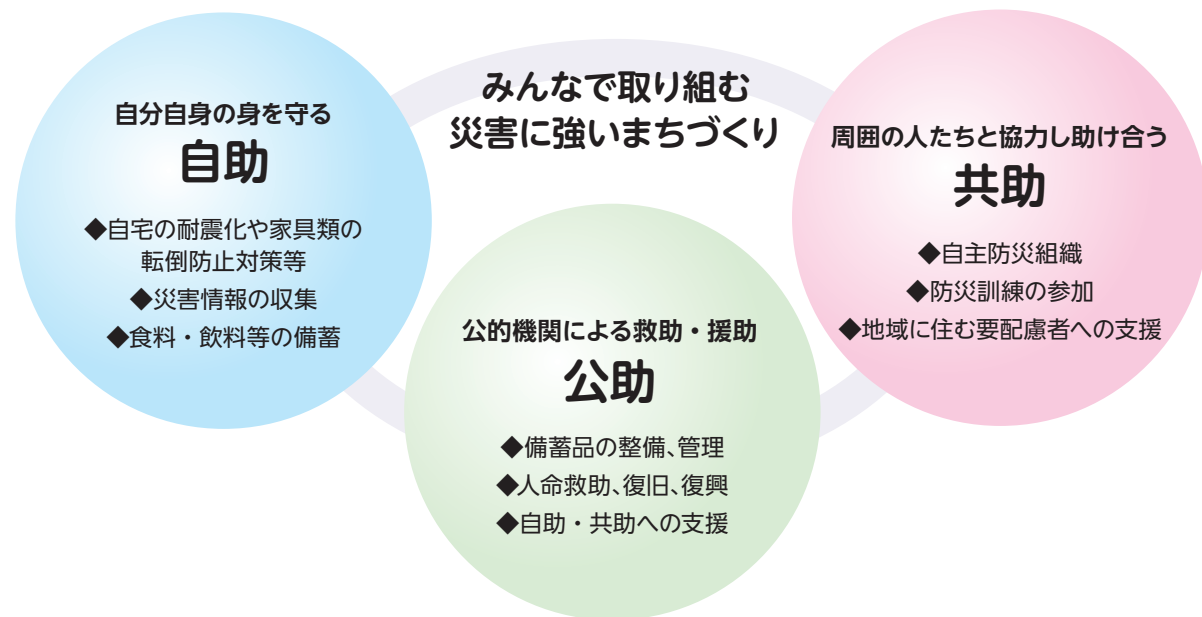
災害は、いつ・どこで・どのように発生するかわかりません。皆さん一人ひとりが日頃から防災と対応について考え、お互いに助け合う取り組みを続けていき、万が一の災害に備えることが重要であります。

皆さん一人ひとりが防災の意識を高く持っていただき、日頃の防災対策として、家庭の目に留まるところに本防災ハザードマップを常備され、家族や地域で、ご利用いただきますようお願いいたします。

令和8年3月
古殿町長 岡部 光徳

地域の防災力を高める 自助・共助・公助








地震や洪水、台風等の自然災害による被害は、わたしたちの日ごろの努力によって減らすことが可能です。行政による「公助」はいうまでもありませんが、自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人どうしが助け合う「共助」こそが、災害による被害を少なくするための大きな力となります。ただし、身のまわりの人を助けるには、まず自分自身が無事であればなりません。「自助」があつての「共助」です。災害が起きてからでは間に合いません。いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



出典：内閣府ホームページ(<https://www.bousai.go.jp/index.html>)を加工して作成

家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- 家具の置き方、工夫していますか? 
- 避難場所や避難経路確認していますか? 
- 食料・飲料などの備蓄、十分ですか? 
- 関連お役立ちサイト、把握していますか? 
- 非常用持ち出しバッグの準備、できていますか? 
- もしもの時の情報収集、していますか? 
- 安否確認方法決まっていますか? 

出典：首相官邸ホームページ(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/index.html>)を加工して作成

避難行動ガイド

！ 警戒レベル3 高齢者等避難や警戒レベル4 避難指示が出たら、危険な場所から避難しましょう。

！ 避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

！ 避難先は体育館・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

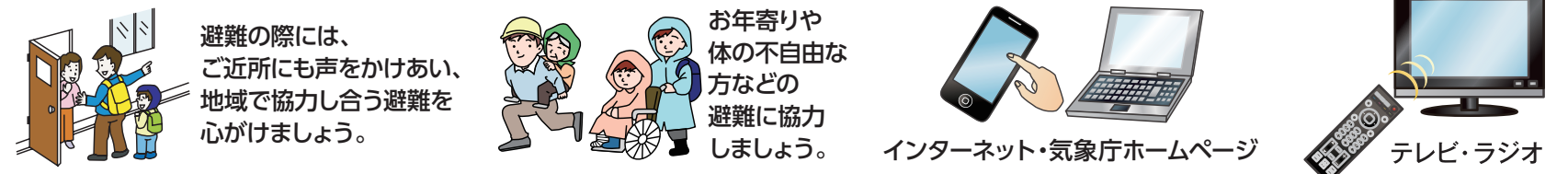
避難行動に関する行政発令の種類と、住民の皆さまの対応

避難指示などは、災害の種類ごとに避難行動が必要な地域を示して発令しますが、地域やご家庭などの事情によって、「避難指示」を待たずに避難が必要と考えられる場合は、「自主避難」をお願いします。

区分	立退き避難など住民の皆さまの行動
高齢者等避難	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報に注意を払い、立退き避難の必要について考える。 ・立退き避難が必要と判断する場合は、その準備と立退き避難をする。 ・要配慮者(障がい者や高齢者で避難行動が困難な人)は、この段階で立退き避難をする。
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時持ち出し品をもって、立退き避難をする。 ・立退き避難することが、かえって危険と判断される場合は、屋内で安全を確保する。
緊急安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。 ・町が災害発生を把握していない場合もあり、必ず発令されるものではないことに留意する。

※「自主避難」とは・・・避難指示などを待たず、自主的に地区集会所、親戚や友人の家などの安全な場所へ避難することです。その際は、出来るだけ必要な食糧、飲物、日用品などを持参するようにしてください。

※雨が降り続いていたら、テレビ・ラジオ・スマートフォン・パソコンなどで最新の気象情報を入手しましょう。特に、河川氾濫の浸水想定区域や土砂災害警戒区域にお住まいの方は、自分で早めに判断し、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる行動(自主避難)することが命を守ることになります。



大雨のとき

土砂災害警戒区域の地区に対して、町が設定している基準に達した場合に高齢者等避難開始、避難指示、緊急安全確保を発令します。また、高齢者等避難開始が発令されずに避難指示が発令される場合もあります。

※特に土砂災害警戒区域にお住まいの方は、早め早めに判断をして、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる自主避難をすることが命を守ることにあります。



地震のとき

大きな地震やそれに伴う余震により家屋が倒壊し、又は倒壊するおそれがあるときに避難指示を発令します。

※直ちに避難所を開設するよう努めますが、災害の規模により時間がかかる場合があります。



火災のとき

大規模な延焼拡大のおそれがあるときに、避難指示を発令します。



その他

その他災害が発生するおそれがあるときに、避難指示を発令します。

警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベルについて 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市町村が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等（警戒レベル）				防災気象情報（警戒レベル相当情報 ※1）						
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	河川氾濫に関する情報			大雨に関する情報	土砂災害の情報		
				洪水予報河川	水位周知河川 ※3	その他河川 ※3	低地の浸水や洪水予報 河川以外の外水氾濫	急傾斜地の がけ崩れや土石流		
				発表主体	発表単位					
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ ・警戒レベル5は、すでに安全な避難が できず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を 待ってはいけません！ ・ただし、警戒レベル5は、市町村が災害の 発生・切迫を把握できた場合に、可能 な範囲で発令される情報であり、必ず 発令される情報ではありません。	緊急安全 確保 災害が実際に発生 していることを把握 した場合に、可能な 範囲で発令 (古殿町が発令)	警戒 レベル5 相当情報 ※1	レベル5 氾濫特別警報 レベル5 氾濫発生情報 ※2	レベル5 氾濫発生情報 ※2	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	
~~~~~ < 警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！ > ~~~~~										
4	災害の おそれ 高い	危険な場所から全員避難 ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に 必要な時間や日没時間等を考慮して発 令される情報で、このタイミングで危険 な場所から避難する必要があります。	避難指示 地域の状況に応じ て緊急的又は重ね て避難を促す場合 等に発令 (古殿町が発令)	警戒 レベル4 相当情報 ※1	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 氾濫危険情報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	
3	災害の おそれ あり	危険な場所から高齢者等は避難 ・「高齢者等」は障がいのある人や避難を支 援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、 普段の行動を見合わせ始めたり、避難の 準備をしたり、自主的に避難するタイミン グです。	高齢者等 避難 (古殿町が発令)	警戒 レベル3 相当情報 ※1	レベル3 氾濫警報	レベル3 氾濫警戒情報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 土砂災害警報	
2	気象状況 悪化	自らの避難行動を確認	レベル2 土砂災害 注意報 レベル2 大雨注意報 (気象庁が発令) レベル2 氾濫注意報 (河川事務所 または都道府県と 気象庁が発令)	警戒 レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 氾濫注意情報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 土砂災害注意報	
1	今後気象 状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意 情報 (気象庁が発令)	警戒 レベル1	早期注意情報					

※1 これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。  
 ※2 レベル5氾濫発生情報については、河川管理者等からの「通報」を受け、都道府県知事等から発表されます。  
 ※3 水位周知河川とその他河川の外水氾濫については、大雨に関する情報で扱います。これらを参考に自主的に早目の避難行動をとりましょう。  
 なお、水位周知河川については、河川事務所・都道府県による水位情報もこれまで通り発表されますが、その他河川については、河川ごとのレベル3氾濫警戒情報の発表はありません。  
 ※市町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。  
 注)新たな防災気象情報の令和8年度改正見込みの内容にて記載

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

**警戒レベル5**はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。

**警戒レベル3 高齢者等避難**や**警戒レベル4 避難指示**で、**地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。**

(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

# 防災気象情報

**特別警報** 情報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

◆気象等に関する特別警報の発表基準 注)令和8年度の出水期に変更の予定です。

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

※発表にあたっては、降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標が設けられており、これらの実況および予想に基づいて気象庁が判断します。

◆地震(地震動)・火山・津波に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)

※これらの特別警報は、名称に「特別警報」は用いず、従来どおりの名称で発表します。

**特別警報が発表されたら**

- ⚠ 尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ⚠ 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ⚠ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

## 雨の強さと降り方

予報用語	1時間雨量(mm)	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
やや強い雨	10以上 20未満	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	地面一面に 水たまりができる。	—
強い雨	20以上 30未満	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。		ワイパーを速くしても見づらい。	
激しい雨	30以上 50未満	バケツをひっくり返したように降る。		寝ている人の半数くらいが 雨に気がつく。	道路が 川のようなになる。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプランニング現象)
非常に激しい雨	50以上 80未満	滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)			水しぶきで あたり一面が 白っぽくなり、 視界が悪くなる。	車の運転は危険。
猛烈な雨	80以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	傘は全く役に立たなくなる。			

## 風の強さと吹き方

予報用語	平均風速(m/s)	おおよその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその瞬間風速(m/s)
やや強い風	10以上 15未満	~50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	~70km		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。戸戸やシャッターが揺れる。	30
非常に強い風	20以上 25未満	~90km	高速道路の自動車	何かにつかまっていようと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	40
猛烈な風	30以上 35未満	~125km					固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	50
	35以上 40未満	~140km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	60
	40以上	140km~					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	

## 台風の大きさと強さ

大きさ	風速 15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上 800km未満	強い	33m/s(64ノット)以上 44m/s(85ノット)未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44 m/s(85ノット)以上 54m/s(105ノット)未満
		猛烈な	54m/s(105ノット)以上

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

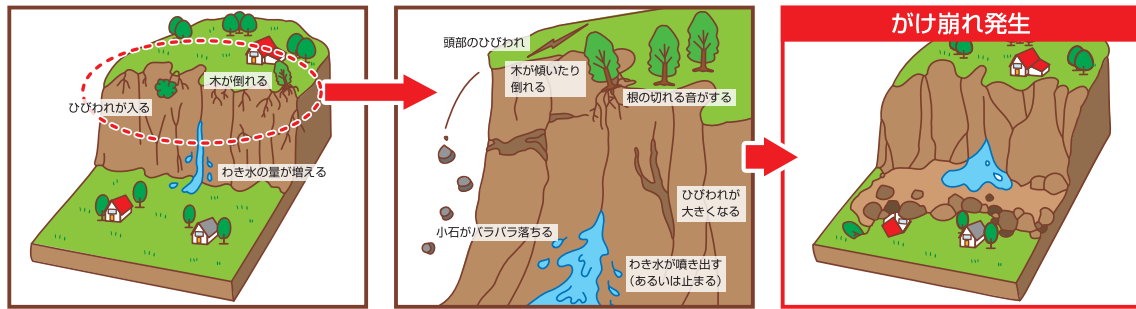
# 土砂災害について

## 土砂災害の種類

土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地滑りの3種類に分類される。

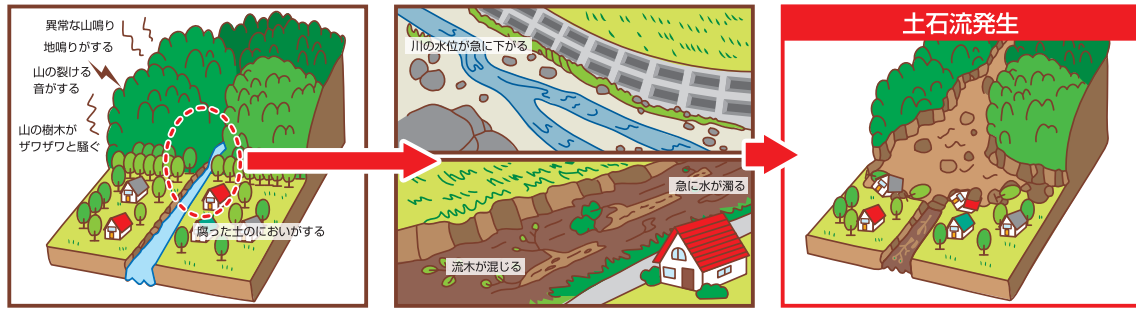
### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

雨などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高い。



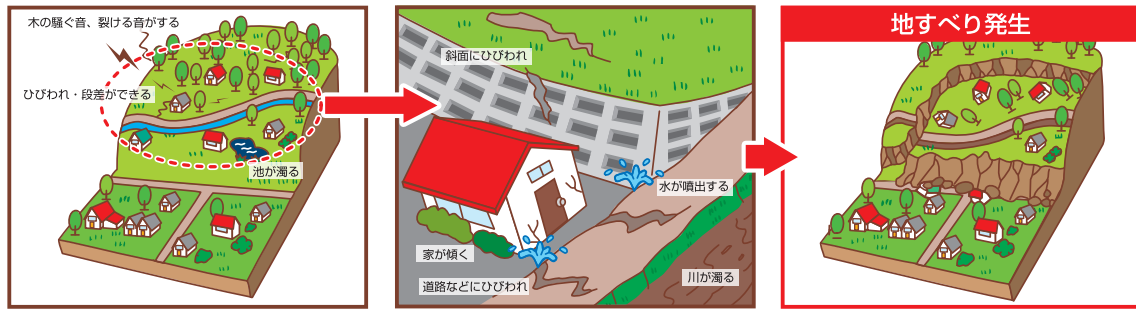
### 土石流

山腹や溪床を構成する土砂石礫の一部が雨などによって水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。流速 20～40km/h で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまう。



### 地すべり

斜面の土塊が地下水などの影響により、すべり面に沿ってゆっくりと斜面下方へ移動する現象。一般的に広範囲に及び移動土塊量が大きいため甚大な被害を及ぼす可能性が高い。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

土砂災害 特別警戒区域	建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害 警戒区域	住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 避難行動のポイント

### 豪雨になる前に！

- お住まいの地域に警戒レベル4土砂災害危険警報が発表されたら、自治体からの警戒レベル4避難指示の発令に留意し、土砂キキクルなどを参考にし、地域内の方々に声をかけあい近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。特に、お年寄りや障害のある人など避難に時間がかかる人や、夜中に大雨が想定される場合は、警戒レベル3高齢者等避難が発令されたタイミング等で早めに避難することがより安全です。
- 土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。浸水などで避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上や、家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に移動しましょう。

出展：首相官邸ホームページを加工し、新たな防災気象情報の令和8年度改正見込みの内容を踏まえて作成

# 洪水・浸水害について

## 住居等への浸水被害について

- 古殿町では、令和元年10月の「東日本台風」において、床上・床下等の浸水被害を受けています。川が氾濫しない場合でも、特に低い土地などは浸水被害が起こる場合があります。十分に注意しましょう。

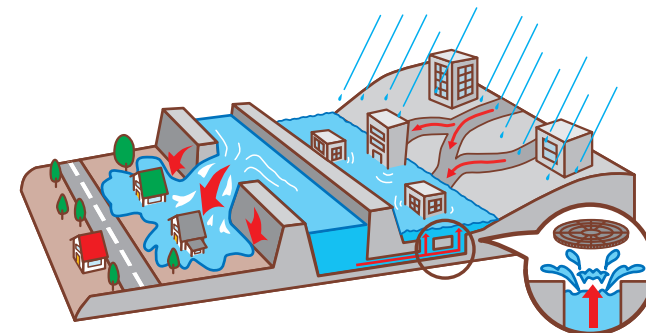
## 氾濫の種類

### 外水氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどで堤防から水があふれ出す。

### 内水氾濫

下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水あるいは河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水



出典：国土交通省ウェブサイト(https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/)を加工して作成

## 洪水情報 注)新たな防災気象情報の令和8年度改正見込みの内容にて記載

洪水予報河川(R8.1時点 古殿町 指定河川無し)

- 流域面積が大きい河川で、水防法に基づき、洪水によって国民経済上重大または相当な損害が生じるおそれがあるとして、国土交通大臣または都道府県知事が指定した河川です。指定河川において、河川ごとに、レベルに応じて、レベル5氾濫特別警報等が発表されます。

水位周知河川(R8.1時点 古殿町 指定河川無し)

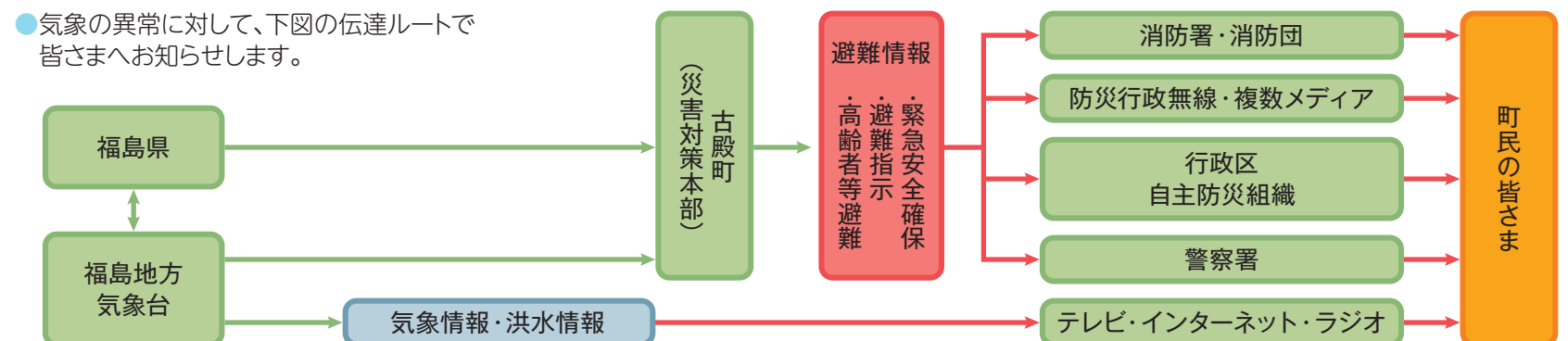
- 洪水予報指定河川でないものの、洪水が起きると国民経済上重大な損害が生じる恐れがあるため、国土交通大臣または都道府県知事が指定し、水位が一定の「避難判断水位(特別警報水位)」に達したら、河川ごとに、水位情報が周知されます。また、大雨に関する情報(レベル5大雨特別警報、レベル4大雨危険警報、レベル3大雨警報、レベル2大雨注意報)が、市町村ごとに発表されます。

上記以外の河川

- 河川ごとの氾濫警報や氾濫警戒情報は発表されません。大雨に関する情報(レベル5大雨特別警報、レベル4大雨危険警報、レベル3大雨警報、レベル2大雨注意報)が市町村ごとに発表されます。

## 洪水情報伝達ルート

- 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さまへお知らせします。



情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

## 避難行動のポイント、危険な場所

### 1. 情報の確認

- 雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。  
川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>  
気象庁の防災情報 <https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

### 2. 動きやすい服装、集団での避難

- 避難するときは、動きやすい格好で、二人以上での行動を心がけましょう。

### 3. 避難時の歩き方

- 避難中はできるだけ浸水していない場所などを歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の2階以上に避難しましょう。
- 浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。

### 4. 隣近所への呼びかけ

- お年寄りや子供、病気の人は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人の避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくとう便利です。

### 5. 車での避難は危険

- 自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

### 6. 橋や川の近くは危険

- 川が増水している場合には、川の流が速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。

### 7. 川や用水路を見に行かない

- 大雨の時に、川や用水路の様子を見に行つたことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 地震の時はどのように行動したらいいか？

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにはまず身の安全を確保してください。そして、落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンのワンセグやネット通信機能など、様々な手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。

<p><b>家庭で屋内にいるとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。</li> <li>●あわてて外に飛び出さない。</li> <li>●料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない。</li> </ul> 	<p><b>人が大勢いる施設(大規模店舗などの集客施設)にいるとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●あわてずには施設の係員や従業員などの指示に従う。</li> <li>●従業員などから指示がない場合は、その場で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる。</li> <li>●吊り下がっている照明などの下から退避する。</li> <li>●あわてて出口や階段に殺到しない。</li> </ul> 
<p><b>山やがけ付近にいるとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。</li> </ul> 	<p><b>屋外にいるとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。</li> <li>●ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。</li> </ul> 
<p><b>自動車運転中</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす。</li> <li>●ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する。</li> </ul> 	<p><b>大都市で地震に遭遇した時</b></p> <p><b>まずは、身の安全を確保した後、むやみに移動を開始しないことが基本!安全な場所にとどまることを考えましょう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●道路では余震で頭上から物が落下してきたり、道中に火災が起こっていたりするなど、数多くの危険が予想されますので、安全な場所からはむやみに移動しないようにしましょう。</li> <li>●駅周辺等大混雑している場所では、人が将棋倒しになる集団転倒が起きやすくなります。駅周辺には近づかないようにしましょう。</li> <li>●発生3日程度は火災の発生や救助・救急活動優先のため、混乱状態が続きます。まず身を守るために安全な場所にとどまることを考えましょう。</li> </ul> 
<p><b>エレベーターに乗っているとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●最寄りの階で停止させて、すぐに降りる。</li> </ul> 	<p><b>鉄道・バスに乗っているとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●つり革や手すりにしっかりつかまる。</li> </ul> 

出典：首相官邸ホームページを加工して作成

## 住宅防火

### いのちを守る10のポイント

#### ◆4つの習慣



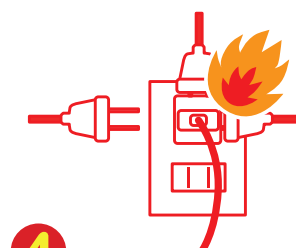
**1**  
寝たばこは絶対にしない、させない



**2**  
ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

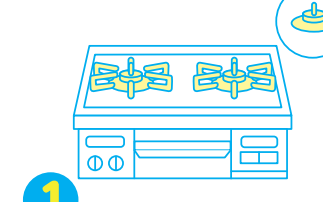


**3**  
こんろを使うときは火のそばを離れない



**4**  
コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

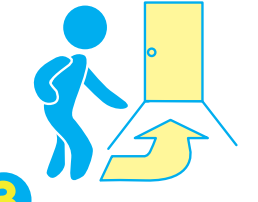
#### ◆6つの対策



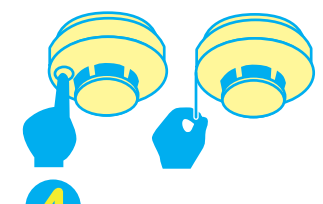
**1**  
火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



**2**  
火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する



**3**  
お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



**4**  
火災の早期発見のために、住宅用火災報知器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



**5**  
火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



**6**  
防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

出典：消防庁ホームページを加工して作成

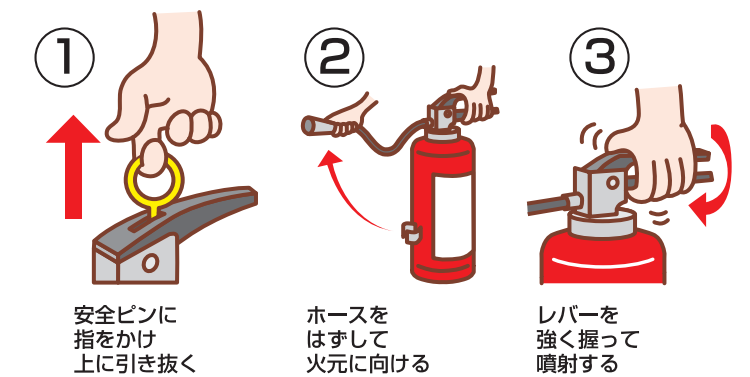
## 消火器の使い方

消火器は、火災の起きている場所の近くまでは片手または両手で搬送し、消火に安全な場所、概ね7、8メートルまで近づきます。そこで操作をしないと運んでいる間に誤射し、火災現場に到着した時には、放射し終わってしまうこともあります。消火器が重く、片手で運べない人は、両手で抱えるように搬送し、障害物にぶつけないよう気をつけて運びます。

①消火器の使い方は、まず最初に黄色の安全ピンを引き抜きます。②次にホースを外し火元に向けます。③そしてレバーを強く握って放射します。消火器が重いときは、消火器を置いたままレバーを握って放射する方法もあります。

放射の際は、火の根元をねらって、手前からほうきで掃くように消火剤を放射して下さい。消火剤を効果的に放射するため、また、自分の身を守るために消火器は風上から放射します。室内においては、逃げ道を確認し、出入り口を背に放射します。放射時間や放射距離は、本体に必ず表示してありますので確認しておくといでしょう。

ホースは、先端を持ちましょう。ホースの途中を持つとホースの圧力などからねらいが定まらず、的確な場所に放射できない恐れがあります。



出典：消防庁ホームページ防火・危機管理eカレッジを加工して作成  
(<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/index2.html>)

# 非常用持ち出し袋および備蓄品

## 災害の「備え」チェックリスト に✓を入れて確認しましょう。

### 非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの!

- |                                                                               |                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 水                                                    | <input type="checkbox"/> 軍手                                            |
| <input type="checkbox"/> 食品<br>(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意!) | <input type="checkbox"/> 洗面用具                                          |
| <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット・防災ずきん                                       | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉                                     |
| <input type="checkbox"/> 衣類・下着                                                | <input type="checkbox"/> タオル                                           |
| <input type="checkbox"/> レインウェア                                               | <input type="checkbox"/> ペン・ノート                                        |
| <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴                                             | <b>感染症対策にも有効です!!</b>                                                   |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯(※手動充電式が便利)                                      | <input type="checkbox"/> マスク                                           |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(※手動充電式が便利)                                     | <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール                                    |
| <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器                                           | <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ                                    |
| <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく                                             | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ                                     |
| <input type="checkbox"/> 救急用品<br>(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)                        | <input type="checkbox"/> 体温計                                           |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ                                              | <b>一緒に持ち出そう!!</b>                                                      |
| <input type="checkbox"/> ブランケット                                               | <input type="checkbox"/> 貴重品<br>(通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど) |

### 子供がいる家庭の備え

- |                                       |                                   |                                |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ミルク(キューブタイプ) | <input type="checkbox"/> 子供用紙オムツ  | <input type="checkbox"/> 抱っこひも |
| <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶      | <input type="checkbox"/> お尻ふき     | <input type="checkbox"/> 子供の靴  |
| <input type="checkbox"/> 離乳食          | <input type="checkbox"/> 携帯用お尻洗浄機 |                                |
| <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー      | <input type="checkbox"/> ネックライト   |                                |

### 女性の備え

- |                                  |                                     |                                      |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 生理用品    | <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ  | <input type="checkbox"/> 防犯ブザー/ホイッスル |
| <input type="checkbox"/> おりものシート | <input type="checkbox"/> 中身の見えないごみ袋 |                                      |

### 高齢者がいる家庭の備え

- |                                  |                                   |                                       |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ | <input type="checkbox"/> 入れ歯      | <input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗浄剤 |
| <input type="checkbox"/> 杖       | <input type="checkbox"/> 入れ歯用洗浄剤  | <input type="checkbox"/> 持病の薬         |
| <input type="checkbox"/> 補聴器     | <input type="checkbox"/> 男性用吸水パッド | <input type="checkbox"/> お薬手帳のコピー     |

### 備蓄品

お家に備えておくもの!

- 食料や水(最低3日分!出来れば1週間分)×家族分  
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能!
- 生活用品  
例えば、ティッシュ、トイレトーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ…など

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう。

監修/内閣府政策統括官(防災担当)、内閣府男女共同参画局  
[災害の「備え」チェックリスト](首相官邸ホームページ) (<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000064513.pdf>)を加工して作成

# わが家の防災対策

## 家の周囲の安全対策 以下のポイントをチェックし、適切に補修を行ってください。

不安定な屋根のアンテナや、瓦なども専門家に頼んで直してもらいましょう。

瓦のひび割れ、ずれ、はがれがないか点検します。

板壁に腐りや浮きはありますか。

どこにでもあるブロック塀。土中にしっかりと基礎のないもの、鉄筋が入っていないもの、控え壁がないものは危険です。補強しましょう。ひび割れや鉄筋のさびも修理しておきます。

植木鉢などを整理します。落ちる危険がある場所には、何も置かないようにします。

トタンのめくれ、はがれのないことを確認します。

雨樋に落ち葉や土砂が詰まっていたり、継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りはありますか。

家の周りは街灯をつけるなどして、できるだけ明るくしておきましょう。

雨戸はがたつきやゆるみを確認します。

モルタルの壁に傷はありませんか。

放火による火災もあとを絶ちません。家の周りやアパートなどの階段の下に燃えやすいものを置かないようにします。ゴミは収集日の朝に出しましょう。

空き家、車庫、物置などにもきちんと鍵をつけ、戸締まりをしっかりするよう心がけておきます。

ガスは、ボンベを鎖で動かさないよう固定しておきます。

家を空けるときは、隣近所に声をかけておきましょう。

地域のみんで定期的に夜の見回りをするようにしましょう。



出典：消防庁ホームページ「防災・危機管理eカレッジ」を加工して作成  
(<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/index2.html>)

## 準備しておこう 避難場所や避難経路、確認していますか?

### ◆避難場所や避難経路、確認していますか?

いざ災害が起きた時にあわてずに避難するためにも、お住まいの自治体のホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイトなどから防災マップやハザードマップを入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう! 豪雨、津波、火山噴火など、災害の種類によって安全な避難場所が異なります。それぞれの災害をイメージして、どのように行動すれば安全に避難できるか家族で考えてみましょう。



### ◆ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか?

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡がとれない場合もあります。その際には以下のサービスを利用しましょう。

#### 災害用伝言ダイヤル

局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。  
※一般加入電話や公衆電話、一部のIP電話からご利用できます。  
※携帯電話・PHSからもご利用できます。

#### 災害用伝言板

携帯電話やPHSからインターネットサービスを使用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます。

出典：首相官邸ホームページを加工して作成

# 避難場所・避難所とは？



## 避難場所

災害発生後の一時避難場所として、学校のグラウンドなどを指定しています。

## 避難所

災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・公民館・公共建築物などを指定しています。

## 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所・一時避難所一覧

No.	名称	所在地	掲載頁	指定避難所	指定緊急避難場所	福祉避難所	一時避難所	備考
1	古殿町公民館	松川字横川235	P14・21	●				
2	町勤労者体育センター	松川字横川236	P14・21	●				
3	古殿小学校	田口字寺前208	P13・20	●				
4	女性・若者等活動促進施設	田口字寺前208	P13・20	●				
5	古殿中学校	松川字横川462	P14・21	●				体育館を含む
6	古殿町健康管理センター	松川字横川94-1	P14・21・27			●		
7	古殿町地域福祉センター「コスモス荘」	松川字横川99-1	P14・21・27			●		
8	古殿町民体育館（やぶさめアリーナ）	松川字横川82-1	P14・21・27	●				1Fアリーナ、2F軽運動場
9	町民運動場	松川字横川476	P14・21		●			
10	古殿小学校校庭	田口字寺前208	P13・20		●			
11	竹貫区民広場	竹貫字池ノ内65-6	P14・20		●			
12	上松川集会センター	松川字横川107	P14・21・27				●	
13	竹貫集落センター	竹貫字池ノ内5-1	P14・20				●	
14	田口集落センター	田口字寺前69	P13・20				●	
15	鎌田地域農業推進拠点施設	鎌田字長光地32-2	P20・26				●	
16	仙石多目的集会センター	仙石字浜井場25	P19				●	
17	論田ふれあいセンター	論田字中ノ町46-2	P16				●	
18	上山字上婦人・若者等活動促進施設	山上字竹貫田200	P18				●	
19	上山公民館	山上字浪滝104	P17・21				●	
20	馬場平地区伝統文化伝承施設	山上字馬場平274	P24				●	
21	下山上多目的集会センター	山上字古殿18-2	P14・21				●	
22	大久田多目的集会センター	大久田字石神52	P22				●	
23	高房転作促進技術研修センター	大久田字高房55-3	P23				●	
24	下松川構造改善センター	松川字大原162-3	P27				●	
25	滝ノ平集会所	松川字滝ノ平6-2	P29				●	

## ライフライン関連・行政関係機関連絡先

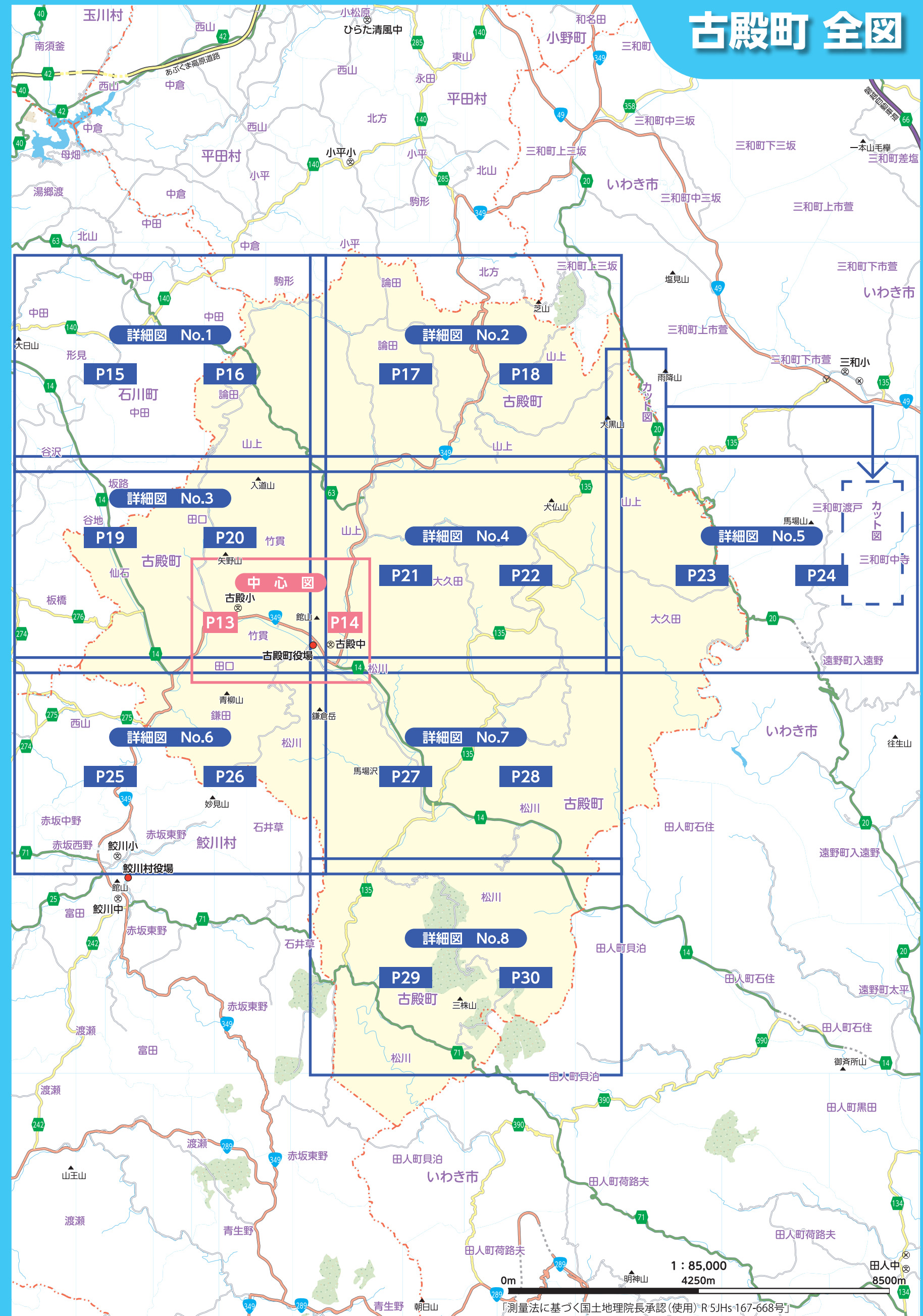
### ライフライン関連機関

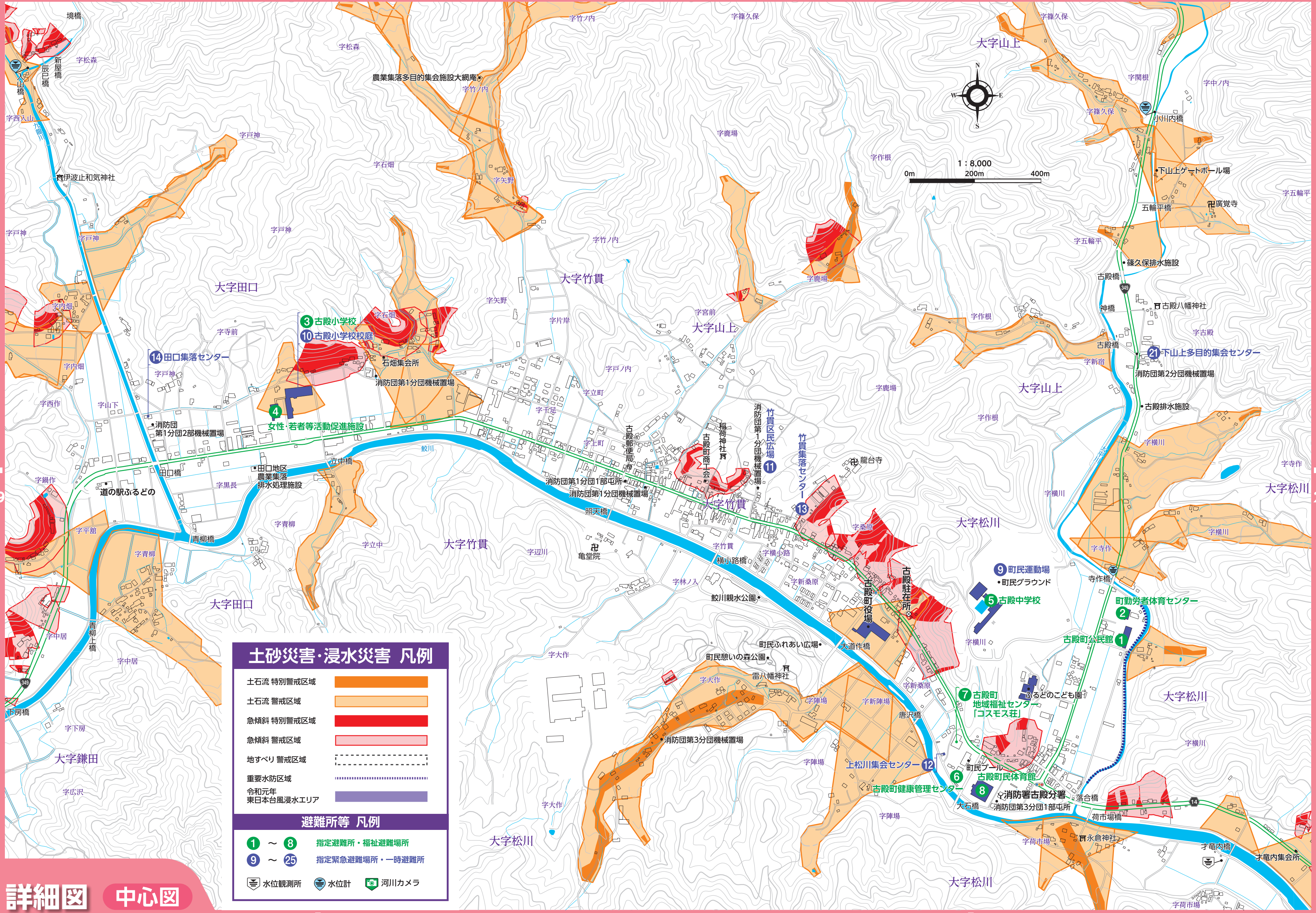
名称	電話番号	備考
東北電力ネットワーク（株）	0120 - 175 - 366	ネットワークコールセンター
NTT 東日本-東北 福島支店	113（固定電話から） 0120 - 444 - 113（携帯から）	故障・通信障害の発生等
古殿町地域整備課	0247 - 53 - 4612	水道に関すること

### 行政関係機関

名称	電話番号	備考
古殿町役場（代表）	0247 - 53 - 3111	
石川消防署古殿分署	0247 - 53 - 3412	
石川警察署古殿駐在所	0247 - 53 - 2037	

# 古殿町 全図





1 : 8,000  
0m 200m 400m

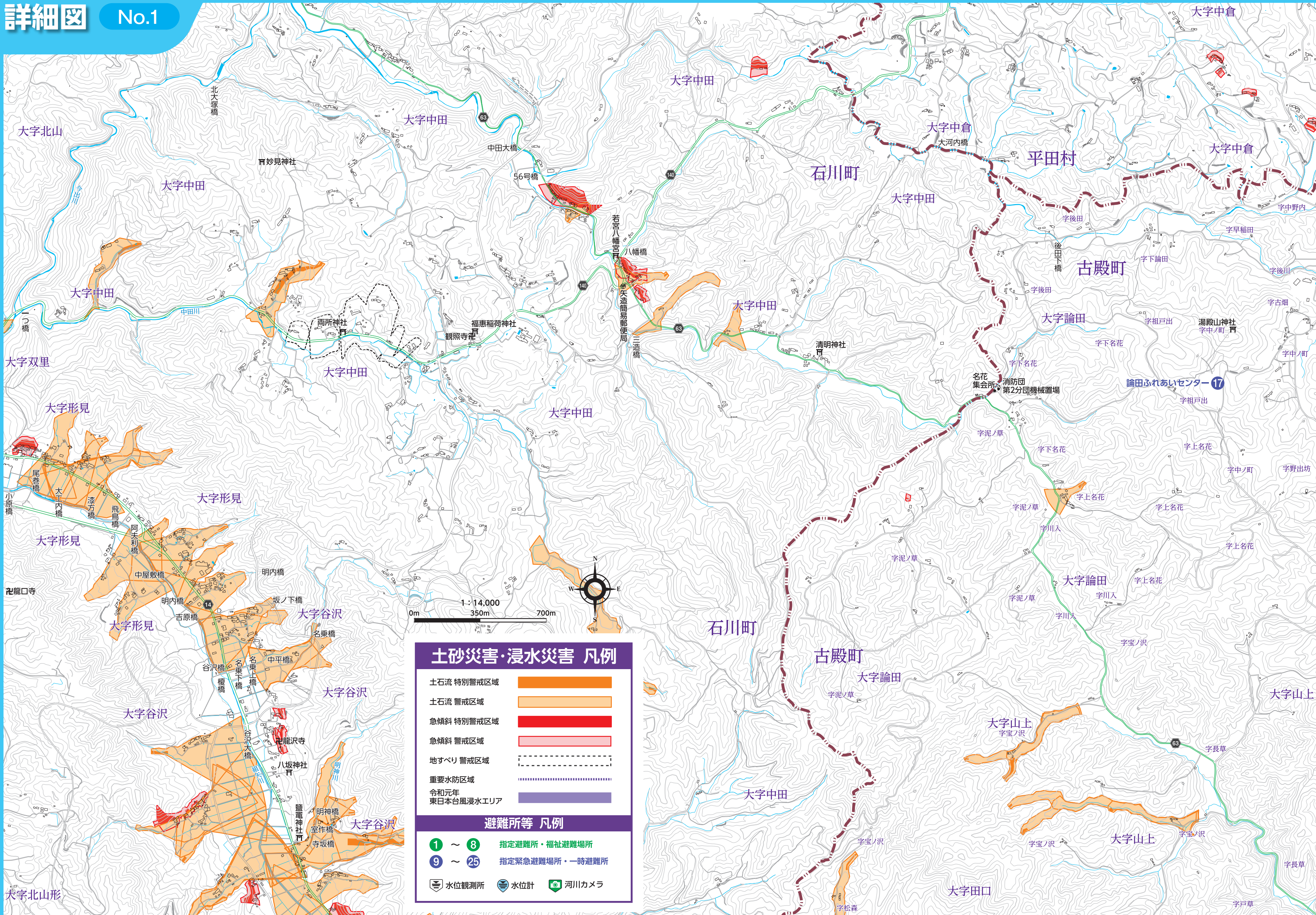
### 土砂災害・浸水災害 凡例

土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	
地すべり 警戒区域	
重要水防区域	
令和元年 東日本台風浸水エリア	

### 避難所等 凡例

	指定避難所・福祉避難場所
	指定緊急避難場所・一時避難所
	水位観測所
	水位計
	河川カメラ



土砂災害・浸水災害 凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 地すべり 警戒区域
- 重要水防区域
- 令和元年 東日本台風浸水エリア

避難所等 凡例

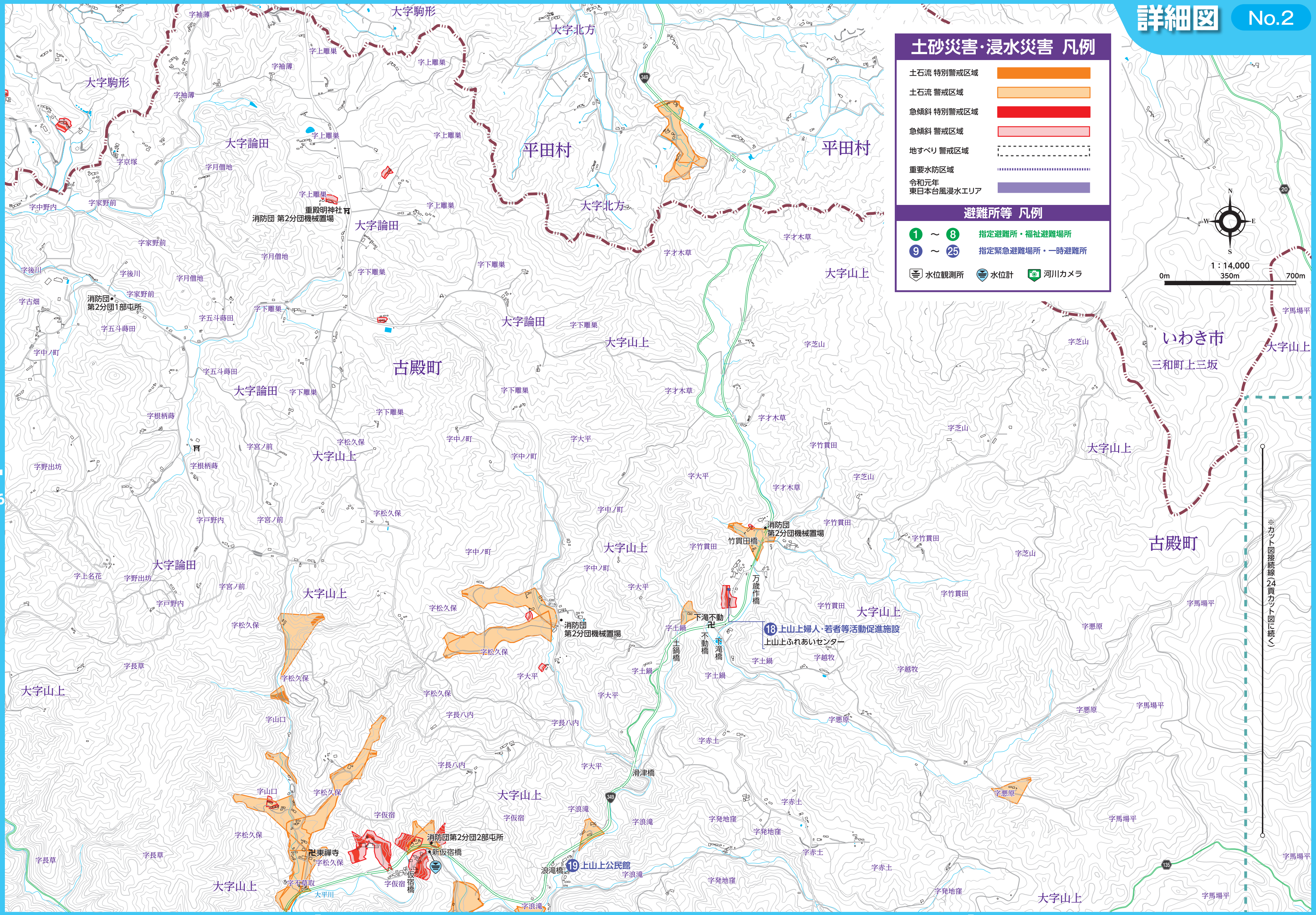
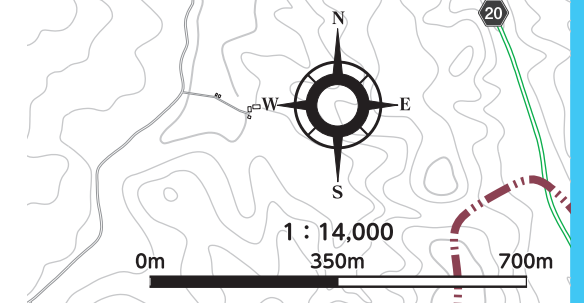
- 1 ~ 8 指定避難所・福祉避難場所
- 9 ~ 25 指定緊急避難場所・一時避難所
- 水位観測所
- 水位計
- 河川カメラ

土砂災害・浸水災害 凡例

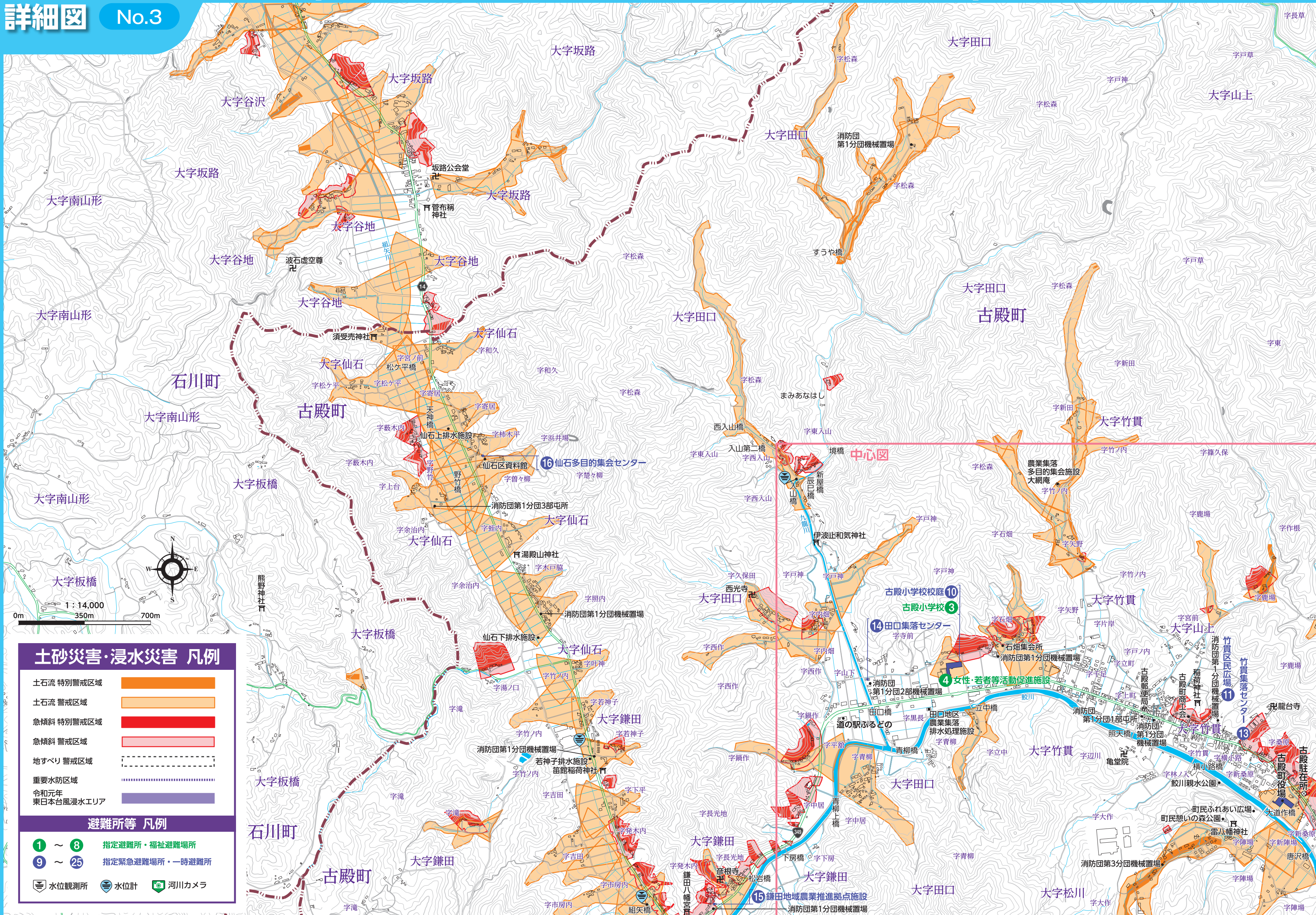
土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	
地すべり 警戒区域	
重要水防区域 令和元年 東日本台風浸水エリア	

避難所等 凡例

	～		指定避難所・福祉避難場所
	～		指定緊急避難場所・一時避難所
			水位観測所
			水位計
			河川カメラ



※カッパ図接続線(24頁カッパ図に続く)



土砂災害・浸水災害 凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 地すべり 警戒区域
- 重要水防区域
- 令和元年 東日本台風浸水エリア

避難所等 凡例

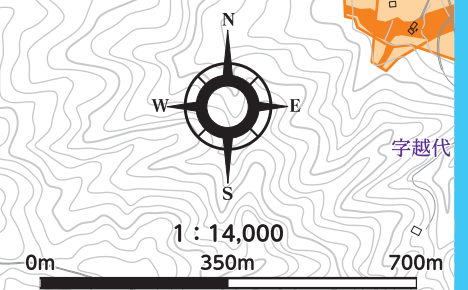
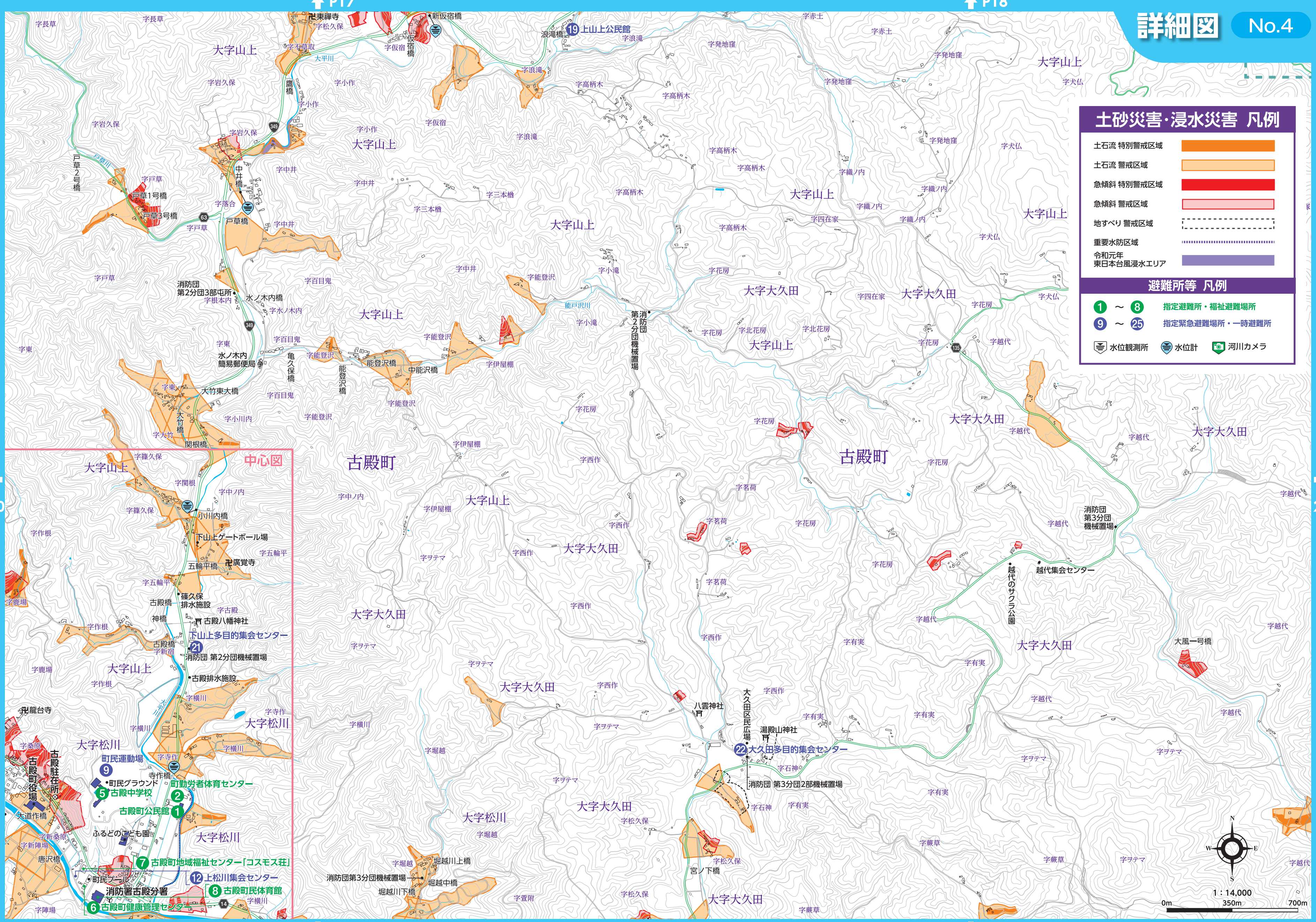
- 1 ~ 8 指定避難所・福祉避難場所
- 9 ~ 25 指定緊急避難場所・一時避難所
- ☞ 水位観測所 ☞ 水位計 ☞ 河川カメラ

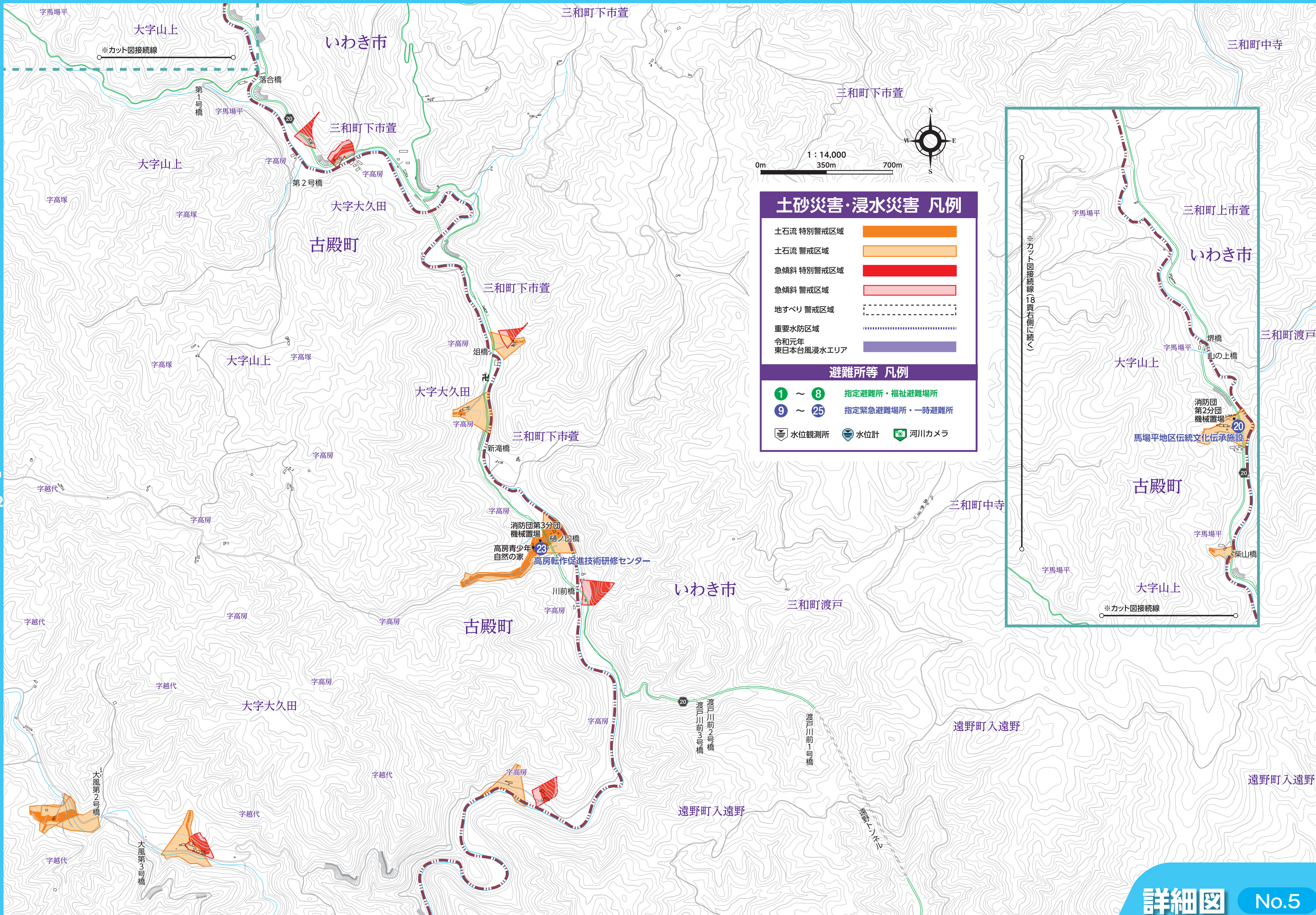
土砂災害・浸水災害 凡例

土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	
地すべり 警戒区域	
重要水防区域	
令和元年 東日本台風浸水エリア	

避難所等 凡例

	指定避難所・福祉避難場所
	指定緊急避難場所・一時避難所
	水位観測所
	水位計
	河川カメラ





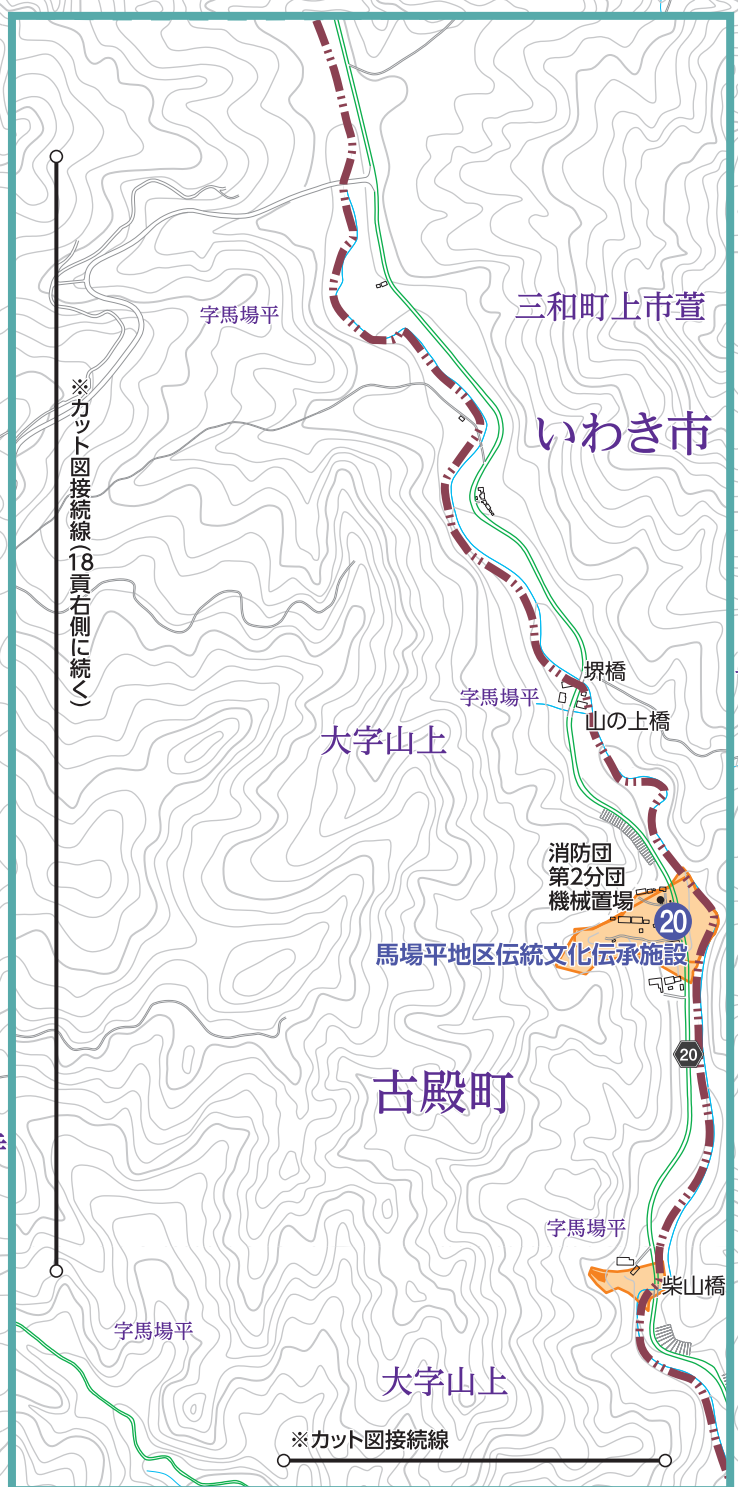
### 土砂災害・浸水災害 凡例

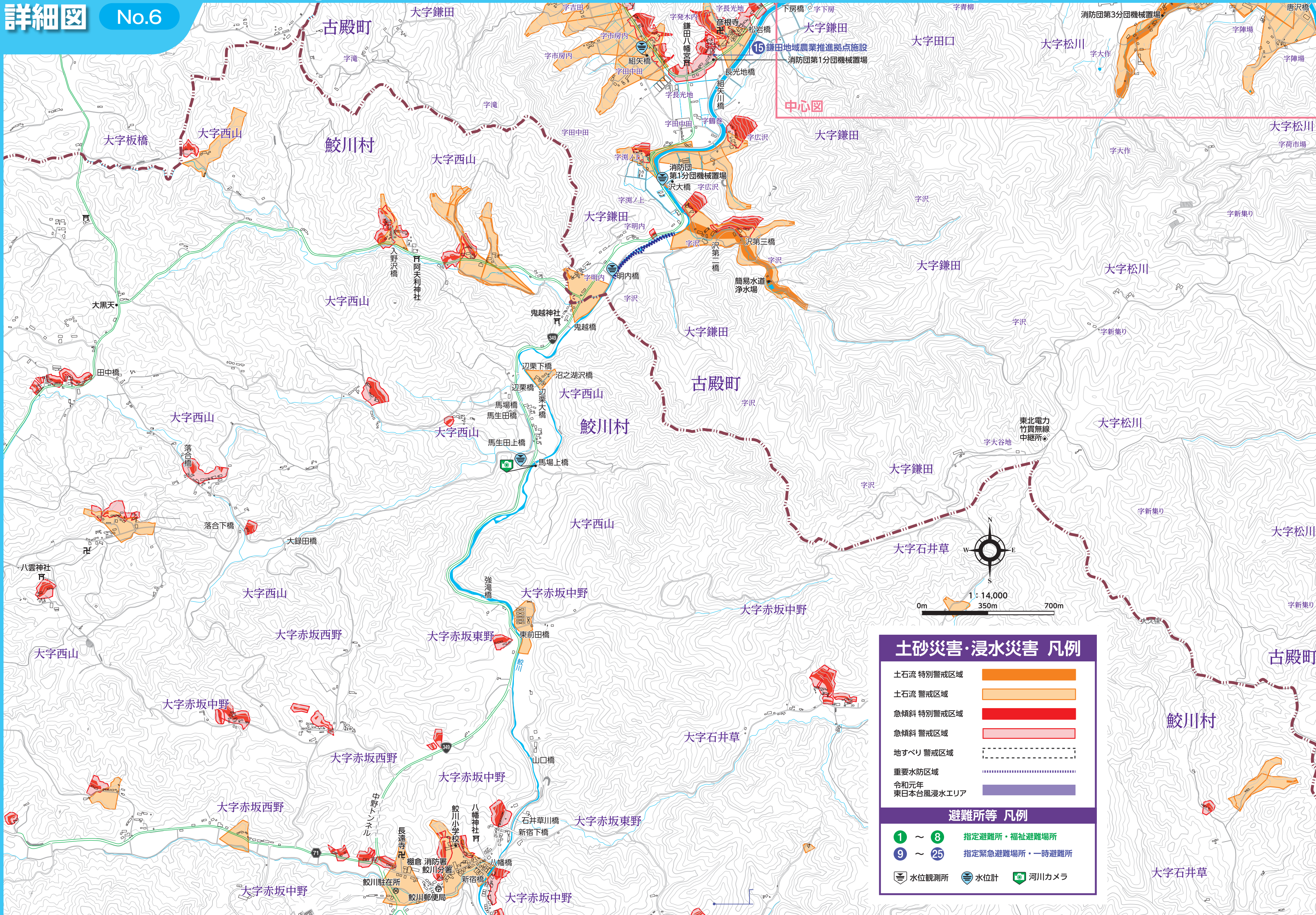
土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	
地すべり 警戒区域	
重要水防区域	
令和元年 東日本台風浸水エリア	

### 避難所等 凡例

	指定避難所・福祉避難場所
	指定緊急避難場所・一時避難所
	水位観測所
	水位計
	河川カメラ





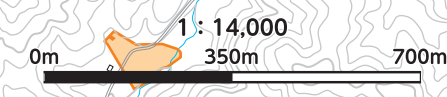
中心図

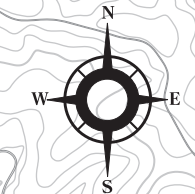
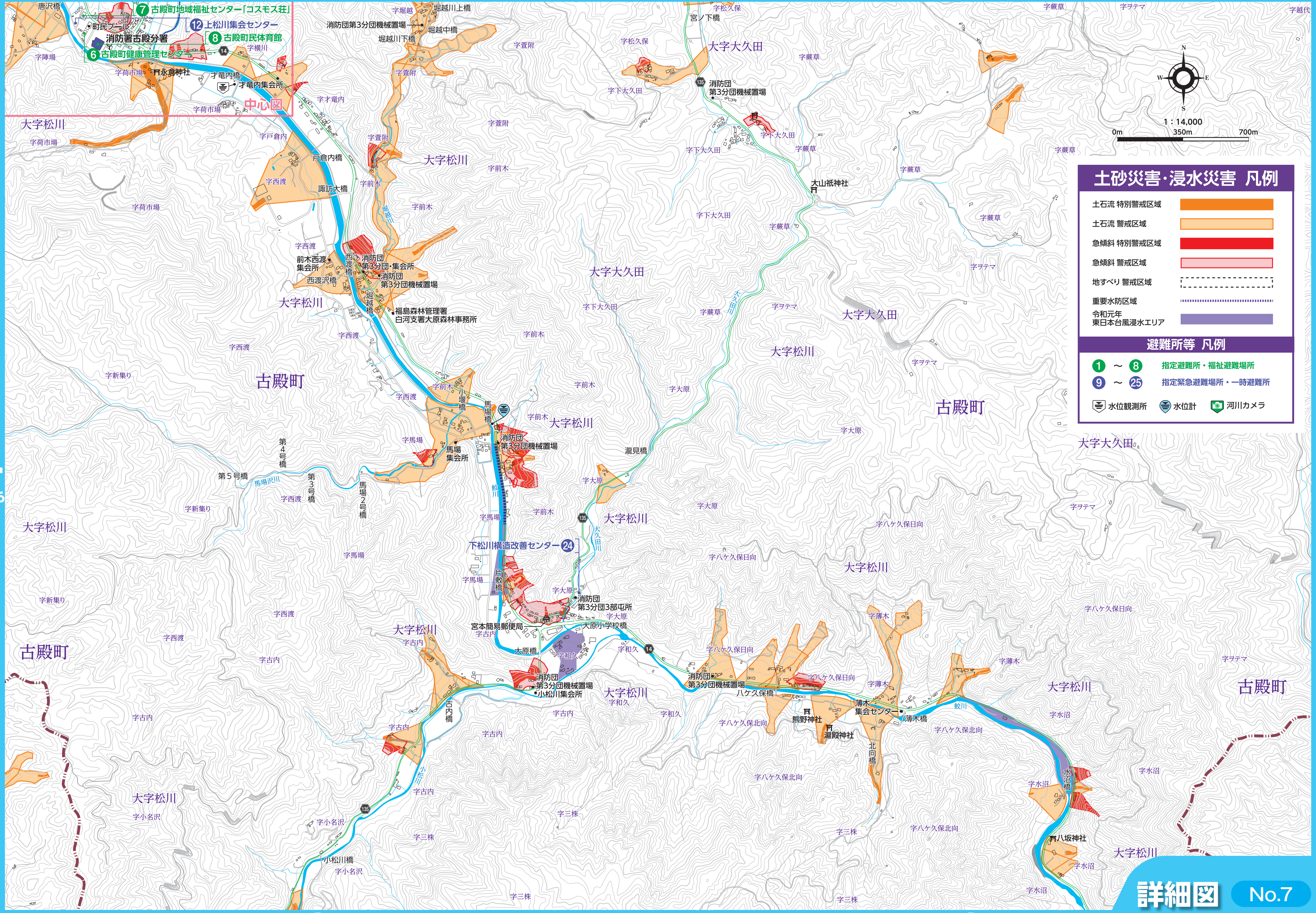
### 土砂災害・浸水災害 凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 地すべり 警戒区域
- 重要水防区域
- 令和元年 東日本台風浸水エリア

### 避難所等 凡例

- ① ~ ⑧ 指定避難所・福祉避難場所
- ⑨ ~ ⑳ 指定緊急避難場所・一時避難所
- 水位観測所
- 水位計
- 河川カメラ





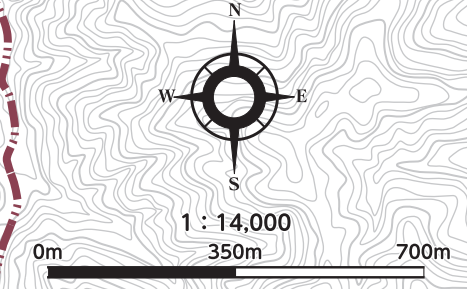
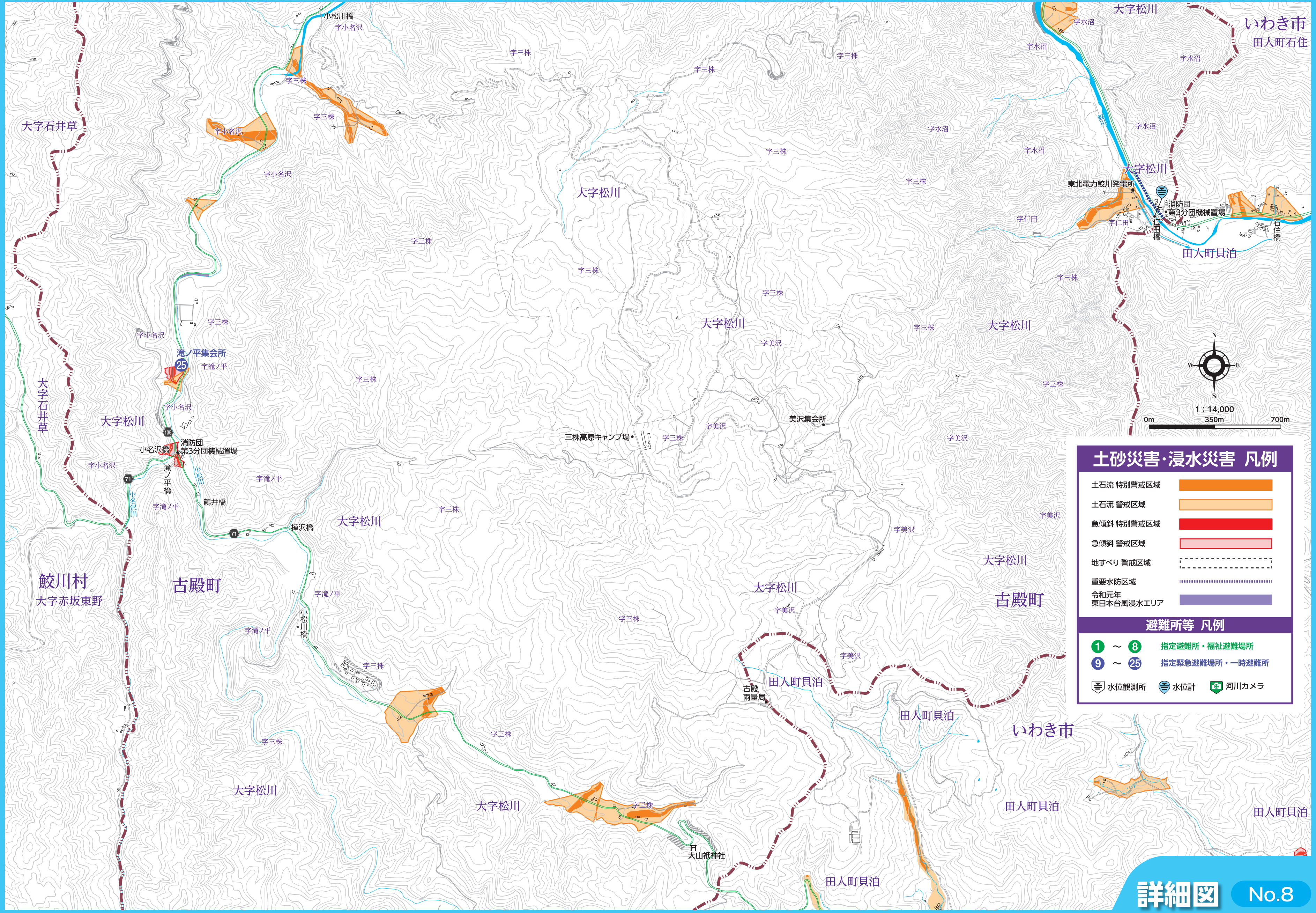
1 : 14,000  
0m 350m 700m

### 土砂災害・浸水災害 凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 地すべり 警戒区域
- 重要水防区域
- 令和元年 東日本台風浸水エリア

### 避難所等 凡例

- ① ~ ⑧ 指定避難所・福祉避難所
- ⑨ ~ ⑳ 指定緊急避難場所・一時避難所
- 水位観測所
- 水位計
- 河川カメラ



土石災害・浸水災害 凡例	
土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	
地すべり 警戒区域	
重要水防区域	
令和元年 東日本台風浸水エリア	

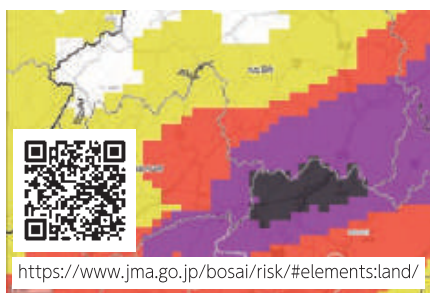
避難所等 凡例	
	指定避難所・福祉避難場所
	指定緊急避難場所・一時避難所
	水位観測所
	水位計
	河川カメラ

# i 防災情報入手

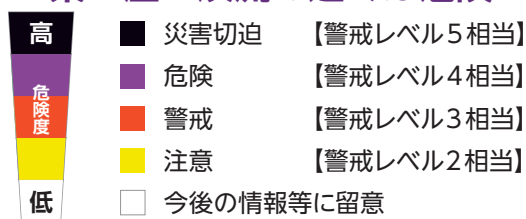
## キキクル

キキクルは、警報が発表された時や、強い雨が降ってきた時に、どこで土砂災害などの危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。地図上で視覚的に確認することができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。災害の危険が、どこで、どのレベルまで迫っているのかを確認してください。

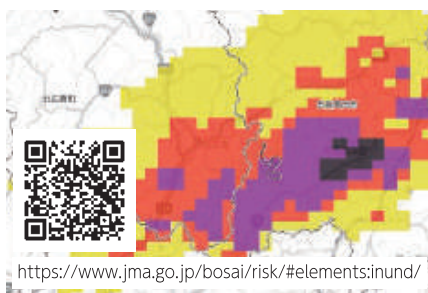
### 土砂キキクル



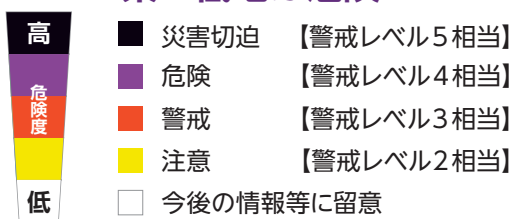
紫：崖・溪流の近くは危険



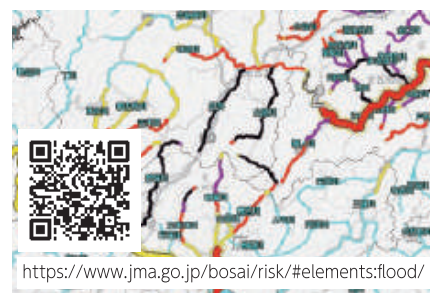
### 浸水キキクル



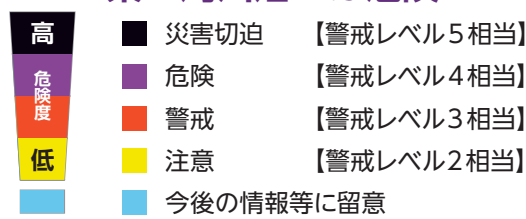
紫：低地は危険



### 洪水キキクル



紫：河川沿いは危険



※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元コードの読み取りができない場合があります。

※大雨に関する情報が対象としている河川の氾濫の危険度(洪水キキクル)や短時間強雨による浸水害の危険度(浸水キキクル)を重ねて「大雨キキクル」として、令和8年度の出水期から、表示されます。

## 気象防災速報(記録的短時間大雨) (令和8年5月下旬(予定)からの名称)

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析:解析雨量)したりしたときに発表します。この情報は、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために、雨量基準を満たし、かつ、大雨警報発表中に、**キキクル**の「危険」(紫)が出現している場合に気象庁から発表されます。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生の危険度が高まっているかを**キキクル**で確認してください。

## 気象防災速報(線状降水帯発生) (令和8年5月下旬(予定)からの名称)

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報です。**警戒レベル4相当以上の状況で気象庁から発表されます。**「気象防災速報(線状降水帯発生)」が発表されていなくても広範囲で激しい雨が長時間継続するような場合には、甚大な災害が発生する場合があります。「気象防災速報(線状降水帯発生)」を待つことなく、災害発生の危険度の高まりを示す**キキクル**を活用いただくことが極めて重要です。

## 気象防災速報(線状降水帯直前予測) (令和8年度の出水期から発表)

今後3時間以内に、線状降水帯の発生により非常に激しい雨が降り続く可能性が高まった場合に発表されます。災害発生の危険度の高まりを示す**キキクル**を確認してください。

## 気象解説情報(線状降水帯半日前予測) (令和8年5月下旬(予定)からの名称)

線状降水帯の発生が予想される「半日前(約12時間前)から6時間前まで」に発表されます。大雨に関する情報や**キキクル**など他の情報と合わせて状況を判断し、行動しましょう。

## 防災情報の入手



- 気象情報・注意報
- 台風・大雨・土砂災害などの防災気象情報



■ 福島地方気象台ホームページ  
<https://www.data.jma.go.jp/fukushima/index.html>

福島地方気象台



- 土砂災害情報



■ 土砂アラート(福島県土砂災害情報システム)  
[https://d-keikai.pref.fukushima.lg.jp/Top.aspx?gps_on=1&timestamp=1770097595178](https://d-keikai.pref.fukushima.lg.jp/Top.aspx?gps_on=1&timestamp=1770097595178)

土砂アラート



テレビのニュースや天気予報だけでなく、データ放送では、気象情報や防災情報について常時放送されています。



- 雨量情報
- 水位情報
- ダム情報
- 洪水予報
- 水防警報



■ 国土交通省「川の防災情報」  
<http://www.river.go.jp>

「川の防災情報」



■ 福島県河川流域総合情報システム  
<https://kaseninf.pref.fukushima.jp/>

福島県河川情報システム